

2021年タレス データ脅威レポート

加速するクラウドトランスフォーメーションとリモートワーク時代におけるデータセキュリティ

01

COVID-19がセキュリティに新たな課題をもたらす

COVID-19

COVID-19による組織全体への影響とリモートワークが、セキュリティ課題の増加と戦略的なセキュリティ支出領域への道筋をつけている。

20%

が、パンデミックによるセキュリティリスクに対処する十分な準備ができていると回答している。

83%

が、リモートで作業する従業員のセキュリティリスク/脅威について懸念している。

44%

が、パンデミック時の最も重要な投資としてプライバシーとセキュリティを挙げている。

02

マルチクラウドの勢いはチャンスを生み出すが、リスクを増大させる

46%

PaaS

が、2社のPaaSプロバイダーを使用している。

24%

SaaS

が、50以上のSaaSアプリケーションを使用している。

49%

IaaS

が、2社のIaaSプロバイダーを使用している。

56%

が、自社データの40%以上がパブリッククラウドに保存されていると回答している。

50%

が、外部に保存されているデータの40%以上が機密データであると回答している。

48%

が、クラウドに保存されている機密データの60%近くが暗号化されていないと回答している。

83%

が、クラウドに保存されている機密データの50%以上が暗号化されていないと回答している。

25%

が、自社データの保存場所を完全に把握している。

03

データ侵害とセキュリティ脅威は複雑さを増している

56%

が、セキュリティ侵害を経験したと回答している。

45%

が、過去12か月間にサイバー攻撃が増加したと報告している。

57%

が、ランサムウェア攻撃の増加を確認している。

48%

が、マルウェア攻撃の増加を確認している。

04

勢いを増すゼロトラスト戦略

34%

が、正式な戦略を持ち、ゼロトラストポリシーを積極的に採用していると回答している。

65%

が、クラウドセキュリティ戦略を形成するためにゼロトラストセキュリティの概念を採用している。

05

差し迫る脅威: 量子コンピューティング

50%

のAPAC回答者が、量子コンピューティングのセキュリティ脅威について非常に懸念している。

!

この懸念の強さは、ポスト量子暗号技術と、暗号化の俊敏性を改善する取り組みへの関心を引き起こすはずである。

06

ゼロトラスト世界の最新データセキュリティ



機密データの検出



機密データの暗号化



暗号鍵の保護



ユーザーアクセスの制御

ご協賛いただいたスポンサー企業

SENETAS

versasec

KEYFACTOR

Canon NTT DATA

cpl.thalesgroup.com/data-threat-reportから、451 Researchの提言を含むレポート全文をダウンロードいただけます。

451 Research
S&P Global
Market Intelligence

出典: タレスの委託によりS&P Global Market Intelligenceの一部である451 Researchが実施した、2021年データ脅威のカスタム調査